

2017  
おもろ  
チャレンジ

## 日本にゲストハウス文化を！ ーゲストハウス先進国カンボジアで ゲストハウスの魅力を調査ー

法学部 3年

峯 志織

カンボジア

2017年8月23日-

2017年9月23日



### 渡航概要と内容

#### 【渡航概要】

- ・ 8/23～9/5, 9/10～9/23 Siem Reap 滞在
- ・ 9/5～9/10 Phnom Penh 滞在

#### 【内容】

当初毎日違うゲストハウスへの宿泊を予定していたが、1つ1つのゲストハウスについてより深く知りたいと考え予定を変更し5つのゲストハウスにそれぞれ4～6日間程度滞在した。

・ イキイキゲストハウス（8/23～8/29） Siem Reap:  
日本語の話せるオーナーの家族経営のゲストハウス。ドミトリーは3\$～。従業員の半分程度が日本語が話せる。宿泊客はほぼ日本人。

・ ザシティプレミアムゲストハウス（8/29～9/4）  
Siem Reap:  
日本人経営のゲストハウス。日本人が常駐しているので安心。一泊5\$～。



イキイキゲストハウス 共有スペース

- ・クロマーヤマトゲストハウス（9/10～9/17）

Siem Reap:

ドミトリーは3\$～。日本食レストランが完備されている。宿泊客はアジア人から欧米人まで様々。



クロマーヤマトゲストハウス 玄関

- ・ブティックドミトリー高知家（9/17～9/21）

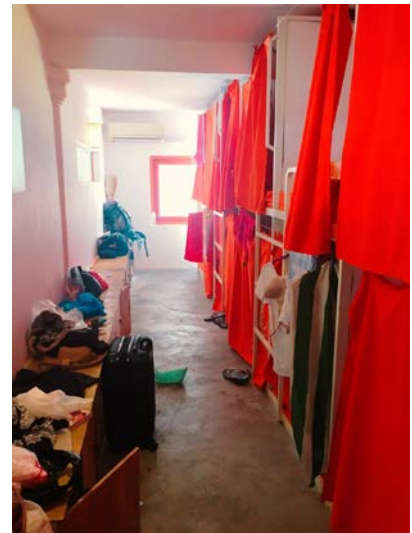
Siem Reap:

オーナーが日本人のゲストハウス。一泊3\$～。ナイトマーケットから非常に近く好立地。

- ・ワンストップ・ホステル（9/5～9/10）Phnom

Penh:

一泊7\$～。宿泊客はほぼ欧米人だが、日本人経営のゲストハウス



ブティックドミトリー高知家

#### 【渡航中に起こったトラブルとその対処法】

- ・プノンペンで歩道を徒歩で通行中、正面からバイクに乗った2人組の若い男にカバンをひたたくられる。カバンには携帯、財布、パスポートが入っていた。

→・斜めがけのカバンを持っていたがそれでもひたたくられたのでカバンは両手で抱えた方が安全

- ・パスポートはカバンではなくスポンのポケットなど体に身につけておき、カバンには入れない

- ・現金は小分けにして数カ所に分散して入れておく、万が一カバンをひたたくられても被害は少額で済む

- ・盗難されても追いかけない、潔く諦める

- ・盗難後すぐ地元の警察に行き盗難証明書を書いてもらう、海外旅行保険に加入している場合この証明書を提出すれば補償を受けることが出来る

## 渡航を通じて感じたこと・学んだこと

渡航を通じて感じたことは主に3つある。

1つ目はカンボジアには普通のいわゆるホテルといわれるものと同じくらいの数のゲストハウスがあるということだ。街中を散歩するだけで数件のゲストハウスを見つけることが出来る。それくらいカンボジアにはゲストハウスが浸透しているのであろう。

2つ目はゲストハウスは普通のホテルと変わらない、もしくはそれ以上に快適であるということだ。実際に宿泊するまでゲストハウスはあまり清潔ではないイメージがあった。しかしどのゲストハウスも実際には掃除が行き届いていて清潔であったし、多くのゲストハウスは壁に個性的な

絵が描かれていたり様々な小物が置かれていたり非常に楽しくリラックス出来る空間であった。また、ゲストハウスの特徴としてあげられるのがアットホームさである。ゲストハウスは一軒家を改装したような作りになっているところが多く親戚の家に泊まっているような感覚に襲われるほど快適な空間であった。

3つ目はゲストハウスは宿泊客同士の交流が非常に盛んであるということだ。ゲストハウスには大抵リビングスペースがあり、イスやソファ、クッション、ハンモック等リラックスグッズが置かれてある。そこは様々な国籍の宿泊客の憩いの場となっており旅の情報やお勧めのレストランなど様々な情報交換が行われる。ゲストハウスに宿泊すると旅の情報が得られるだけでなく異国の友人が出来るのだ。

## ■ 今回の経験をどのように今後生かしていくか

まずは日本にあるゲストハウスを調査し、カンボジアのゲストハウスとの比較を行ったり運営方法について調べたりしてゲストハウスへの理解をより深めたい。その後、日本のゲストハウスのオーナーにゲストハウスを運営する上で大変な点や問題点についてインタビューし日本のゲストハウスの現状について調査する。また、日本には現在こういった宿泊形態が広く普及しているのかを調査し、日本のゲストハウスの普及に勤めたい。

更に、今回の経験で学んだゲストハウスの魅力を友人たちに積極的に共有したいと考えている。ゲストハウスは安いだけでなく様々な異文化交流を行うことが出来る。海外旅行は費用がかかると躊躇している学生や新しい繋がりや刺激を求めている学生にとってゲストハウスは大きな手助けとなるだろう。

## ■ 主な奨学金の使途

\*渡航費

\*移動費

\*食費

\*宿泊費

\*海外旅行保険

\*ビザ代 など